第３学年　数学科学習指導案

指導者　前ちゃん

１　日　時　平成30年11月26日(月)　第5校時(13:15～14:05)　　場　所　3年1組教室

２　単元名　相似な図形

３　本時の指導

(1)　主題名　相似の利用

(2)　ねらい　身近にある事象を、相似な図形の性質を使って解決することができる。

(3)　準備物　パソコン，電子黒板，定規，ワークシート，発表用ボードほか

(4)　展　開

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | T | 形態 | ○支援の工夫　　※指導上の留意点 | ◎評価 |
| １　ねらいを把握する。  ２　課題を知る。  男性が病院の屋上の双眼鏡で景色をながめていたら、花屋さんの前に立っていた女性に一目惚れしてしまった。もう一回その女性を見つけようとしたが、とうとう見つけられなかった。男性はどうしてもその女性に会いたくて、なんとかその場所を見つける方法はないかと考えた。そういえば、最初に双眼鏡をのぞいた時、全く双眼鏡を持たないでのぞいたので、そのときの角度はその双眼鏡の本来の角度のままだと気づいた。さて、女性が立っていた花屋さんの場所を見つけるには、どうすればいいだろうか。  ３　班で話し合い、課題解決の見通しをもつ。  ４　班で話し合った課題解決の見通しを発表する。  ５　花屋の場所を求める。  ６　求め方を発表する。  ７　本時のまとめと自己評価を行う。 | ５  10  10  10  ５  ５  ５ | 一斉  班  班  個人  一斉  一斉 | 「相似な図形の性質を利用して、直接測ることができない長さを測ってみよう。」  ※　スライドを使用し、課題を把握しやすくする。  〇　この状況を自分のことととらえ、どのようにして求めるのか。分からないことや必要な情報はないか考えさせる。  ※　これまでの相似の学習を振り返り、何が分かればその場所を特定できるか解決の見通しをもたせる。  ※　話合いの状況を見て解決のヒントを与える。  〇　各班の代表者が前で説明させる。  ※　見通しの発表順は３の活動内容を見て決める。  ※　問題解決に必要な数値を提示する。問題の意味がつかめたら机を元に戻す。  〇　相似な図形の性質を利用して場所を求めさせる。  〇　黒板に解答を書かかせ、説明させる。  〇　本時のまとめをし，自己評価カードに評価を記入させる。 | ◎　既習事項を根拠にして課題解決に向けての見通しをもつことができたか。  ◎　相似な図形の性質を使って課題を解決することができたか。 |

研究の視点　・　話合いに積極的に参加し、課題解決に向けての見通しをもつことができたか。

　　　　　　・　既習事項である相似な図形の性質を本時の課題に活用し、解決することができたか。